

令和7年度当初予算 概要

令和7年2月
デジタル市役所推進室

1 令和7年度 予算規模

(単位:百万円)

	令和7年度 当初予算案(A)	令和6年度 当初予算(B)	増減 (A) - (B)
一般会計	5,875	5,092	783

※職員給与費を除く

2 主要施策

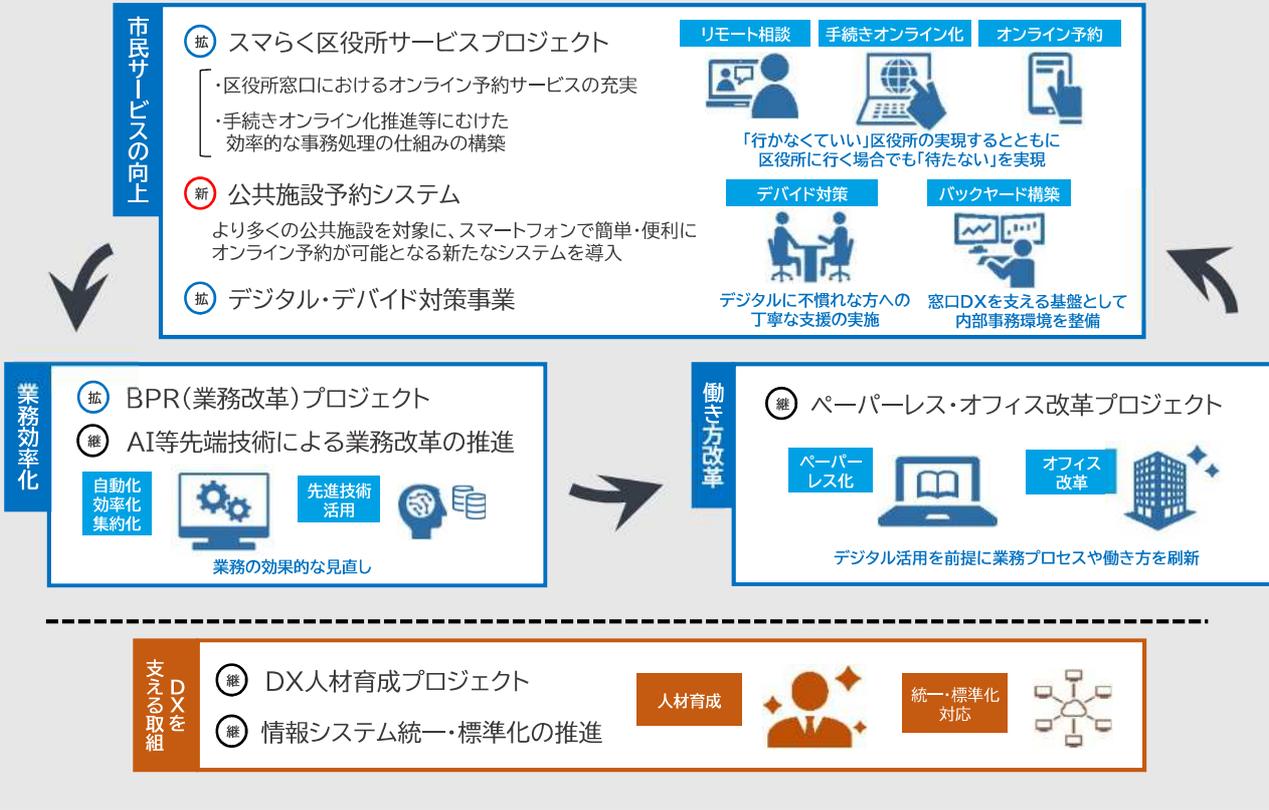
令和7年度 DX関連施策について



「稼げるまち」「彩りあるまち」「安らぐまち」の実現や市政変革推進にむけ、
DX推進による基盤づくり で市政に貢献する

デジタル市役所推進室
予算総額 **59億円** (対前年度比 +16.0%)

市役所のDX



新たな行政サービスの創出

地域のDX

継 地域DX推進プロジェクト

大学生を地域のDX変革リーダーとして育成するなど、次世代につながるDX人材育成エコシステム創出のための取組を実施



3 主な事業

「彩りあるまち」の実現

●彩りある「空間」をつくる

■市役所DXの推進

①市民サービスの向上

拡充 ・スマらく区役所サービスプロジェクト

449百万円

行政手続きにかかる時間をできる限り短縮し、快適・便利な行政サービスを提供するため、デジタル技術を活用した新たな窓口サービスの構築をフロントヤードからバックヤードまで総合的に進める。

(主な取組)

- ・区役所窓口におけるオンライン予約サービスの充実
- ・手続きオンライン化推進等にむけた効率的な事務処理の仕組みの構築



【スマらく区役所の目指す姿】



【窓口オンライン予約】

新規 ・公共施設予約システム導入事業

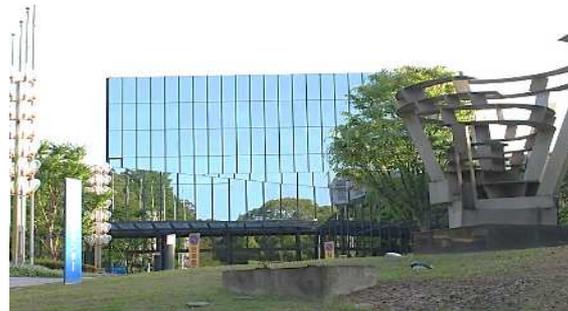
49百万円

※「スマらく区役所サービスプロジェクト」の内数

より多くの公共施設を対象に、スマートフォンで簡単・便利にオンライン予約が可能となる新たな公共施設予約システムを導入する。



【スポーツ施設】



【芸術文化施設】

拡充 ・デジタル・デバйд対策事業

5百万円

※「スマラク区役所サービスプロジェクト」の内数

有益な生活情報や様々な行政手続きがインターネット上で提供される中、デジタルに不慣れな方でもその恩恵を享受できるように、デジタル機器の操作を学べる環境の整備や支援等に取り組む。



【デジタル活用講座・相談会】

②業務効率化

拡充 ・BPR(業務改革)推進事業

74百万円

※「スマラク区役所サービスプロジェクト」の内数

労働人口減少が顕著となる2040年問題に対応し、市役所業務を持続可能なものとしていくため、ノンコア業務の集約を行い、持続的な業務効率化を行う体制を整える。

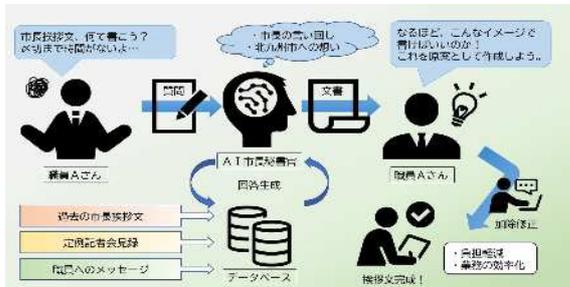


【北九州市行政事務センター】

・AI等先端技術による業務改革の推進

169百万円

業務抜本改革にむけ、AI・RPA等のデジタル技術の徹底活用や、全庁展開中のローコードツールによるシステム内製化を推進するとともに、行政課題の解決等に向けて、生成AI等の先端技術に関する調査研究や実証に取り組む。



【AI市長秘書官実証イメージ】



【ローコードツールの伴走支援】

③働き方改革

・ペーパーレス・オフィス改革プロジェクト

111百万円

柔軟な働き方や生産性向上に加え、職員のエンゲージメント向上を目的とし、市役所本庁舎における新たな執務環境の検討・整備を実施する。



【市役所本庁舎3階・政策局のオフィス改革】

④DXを支える取組

・DX人材育成プロジェクト

21百万円

連携協定企業等の協力も得て研修に取り組み、3年間(令和5年度から令和7年度)で2,400人の市職員をDX人材として体系的に育成する。



【kitaQDXスクール】



【ハンズオン研修】

・情報システム統一・標準化推進事業

331百万円

業務の効率化を図り、限られた人材や予算を効果的に活用し、持続可能な自治体運営の実現にむけて、データ連携基盤の整備などを行い、標準準拠システムへの安全な移行を確実に進める。

■地域DXの推進

・地域DX推進プロジェクト

27百万円

地域DXを推進するため、大学生を地域のDX変革リーダーとして育成するなど、次世代につながるDX人材育成エコシステム創出のための取組を実施する。



【地域のDX人材育成】



【大学生の育成研修イメージ】

【問合せ先(全体に関すること)】

デジタル市役所推進室 DX推進課

西原(課長)、田口(係長)

TEL 093-582-2827